



軽防協ニュース速報

2023 年第 2 四半期(4月-6月)の伝染病発生状況

2023 年 8 月配信

(International Collating Centre からの情報)

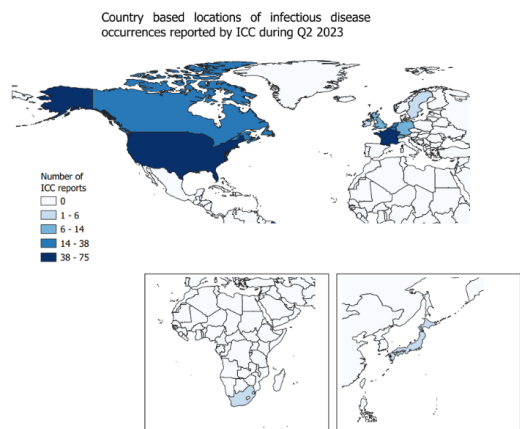
ICC 暫定（リアルタイム）のレポートは、equinesurveillance@gmail.com から受信登録を行うことで e-mail による受信が可能となる。

また、<https://equinesurveillance.org/iccview> のページ内にも、同内容のレポートや最新の流行状況が掲載されている。

この記事は、2023 年第 2 四半期（4 月-6 月）の各国の伝染病発生状況の要約したものである。また、ICC 暫定（リアルタイム）のレポートでは報告されていなかった疾病発生状況の追加情報が寄せられていることにも留意されたい。この追加情報は、本レポートの表と本文の該当する箇所に*印または#印を付して示されている。

このレポートに示されているデータには、各国の研究所での検査サンプルや、報告方法に多少のバイアスがあるかもしれないため注意して解釈していただきたい。そのため、これらのデータが必ずしも世界各地における馬の集団内での伝染病発生率を的確に反映しているわけではないことをご了承願いたい。例えば、ある伝染病について発生報告がないからといって、必ずしもその伝染病がその国の中で存在していないということではない。以下の各表は国によって報告された病気の発生件数をまとめたものである。1 件の発生で複数症例を含むものがある。

2023 年第 2 四半期、ICC は 12 カ国から 267 件の伝染病発生情報の報告をした（地図上の網掛け）。報告された特定の疾病・感染症では、腺疫（n=104）、馬インフルエンザ（n=29）、馬ヘルペスウイルス 4 型（n=28）が最も多く報告された。馬ヘルペス 1 型の神経型（n=20）、流産型（n=13）および呼吸器型（n=15）が次に多く報告された感染症であった。



繁殖疾患

発生国	CEM	EHV-1	EHV-1/4	EHV-3	EHV-4	S.zoo
ベルギー	-	4	1	-	1	-
カナダ	-	1	-	-	-	-
フランス	-	1	-	1	-	1

ドイツ	3	2	-	-	-	-
日本	-	#1	-	-	-	-
オランダ	-	2			-	-
イギリス	-	3			-	-

#四半期末に報告があった追加情報

馬伝染性子宮炎（CEM）

ドイツ

3 件の発生が報告された。2 件はバイエルン州とヘッセン州での単独発症で、ニーダーザクセン州で 3 例の発生を認めた。陽性診断は生殖器スワブを用いた PCR 検査によって行われた。

馬ヘルペスウイルス 1 型（EHV-1）による流産

ベルギー

4 件の発生が報告された。アントワープ、フラミッシュ・ブラバントおよび西フランダース州で単発症例の発生が 3 件、フラミッシュ・ブラバント州でワクチン未接種の繁殖牝馬において 5 例報告された。陽性診断は胎子組織を用いた PCR 検査にて行われた。

カナダ

オンタリオ州のワクチン未接種の牝馬で 1 例報告され、さらに同一施設の 3 頭が陽性を疑われている。

フランス

オルヌ例でワクチン接種済みのサラブレッド繁殖牝馬で 1 例報告された。陽性診断は胎子組織を用いた PCR 検査によって行われた。

ドイツ

ニーダーザクセン州とメクレンブルク＝西ポメラニアで 2 件報告された。繁殖牝馬から採取した鼻腔および生殖器スワブ、および胎子の 1 頭から採取した肺組織の PCR 検査で陽性が確認された。

日本

#ワクチン接種済みのサラブレッドにおける EHV-1 による流産が 1 例報告された。LAMP 法によって陽性を確認された。

オランダ

フレヴォラント州において、ワクチン未接種の繁殖牝馬 2 頭による流産が 1 件報告された。陽性診断は PCR によって確認された。

イギリス

EHV-1 による流産および新生子馬の死亡が 3 件報告された。新生子馬の死亡を含む 2 件はノースヨークシャー州およびラトランドで発生した。ウォリックシャー州でワクチン未接種の繁殖牝馬 1 頭が発症した。陽性診断は胎子、胎盤組織および脳脊髄液を用いた PCR 検査にて行われた。

馬ヘルペスウイルス 1 型/4 型 (EHV-1/-4) による流産

ベルギー

リエージュ州で 1 例報告された。陽性診断は胎子組織を用いた PCR 検査にて行われた。
報告された施設では、さらに流産が発生している。

馬ヘルペスウイルス 3 型 (EHV-3)

フランス

マイエンヌ県で馬皰疹が 1 例報告された。陽性診断は生殖器スワブを用いた PCR 検査にて行われた。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による流産

ベルギー

エノー州で 1 例報告された。陽性診断は胎子組織を用いた PCR 検査にて行われた。

S.zooepidemicus による流産

フランス

ヴォージュ県で *S. zooepidemicus* による流産が 1 例報告された。陽性診断は胎盤組織を用いた PCR 検査にて行われた。

呼吸器疾患

発生国	EHV-1	EHV-1/-4	EHV-2	EHV-2/5	EHV-4	EI	口ド コッ カス	腺疫
ベルギー	-	-	2	1	2	5	-	1
カナダ	-	-	-	-	-	7	-	10
フランス	1	1	-	-	9	5	11	23
ドイツ	5	-	-	-	1	2	-	1
アイルランド	#8	-	-	-	-	-	-	-
オランダ	1	-	-	-	10	1	-	25
南アフリカ	#1	-	-	-	#2	-	-	-
スイス	-	-	-	-	3	-	-	4
イギリス	1	-	-	-	3	5	-	-
アメリカ	4	-	-	-	-	4	-	40

四半期末に報告があった追加情報

馬ヘルペスウイルス 1 型 (EHV-1) による呼吸器感染症

フランス

コート・ドール県において、ワクチン接種済みの騙馬に、アデノウイルス 1 型を併発した EHV-1 呼吸器感染症が 1 例報告された。臨床症状は発熱と鼻汁を認めた。鼻咽頭スワブを用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

ドイツ

ニーダーザクセン州およびシュレスヴィヒ＝ホルシュタイン州で、5 件、各 1 例報告された。鼻腔スワブを用いた PCR 検査および血清検査にて陽性を確認した。

アイルランド

8 件の発生が報告された。そのうち 7 件は単発症例、1 件は 4 例の発生を認めた。

オランダ

フリースラント州で 1 例の発生が報告された。PCR で陽性を確認した。

南アフリカ

北西州で 1 例の発生が報告された。

イギリス

ノースヨークシャー州のワクチン未接種のスポーツホースの繁殖牝馬で 1 例報告された。臨床症状は発熱と粘液性の鼻汁を認めた。鼻咽頭スワブを用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

アメリカ

4 件の発生が報告された。2 件は単発症例で、そのうち 1 件はオレゴン州とウィスコンシン州で馬インフルエンザと *S. zooepidemicus* 呼吸器感染症を併発した症例であった。2 件はノースダコタ州とウィスコンシン州で 2 例発生した。ノースヨークシャー州のワクチン未接種のスポーツホースの繁殖牝馬で 1 例報告された。臨床症状は発熱と粘液性の鼻汁および呼吸器症状を認めた。

馬ヘルペスウイルス 1 型/4 型 (EHV-1,-4) による呼吸器感染

フランス

イヴリーヌ県で EHV-1/-4 呼吸器感染症と *Streptococcus equi* の併発が報告された。鼻咽頭スワブを用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

馬ヘルペスウイルス 2 型 (EHV-2) による呼吸器感染症

ベルギー

エノー州とリンブルフ州で 2 件の発生が報告され、それぞれ単発症例であった。臨床症状は、発咳、鼻汁、発熱であった。鼻腔スワブを用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

馬ヘルペスウイルス 2 型/5 型 (EHV-2,-5) による呼吸器感染

ベルギー

エノー州で 1 例の発生が報告された。臨床症状は、発咳、鼻汁、発熱であった。鼻腔スワブを用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による呼吸器感染症

ベルギー

2 件の発生が報告された。それぞれ、東フランドース州とエノー州における単発症例であった。フラムス・ブラバント州で発生し、それぞれ単独発症であった。臨床症状は発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱が認められた。鼻腔スワブを用いた PCR 検査にて陽性を確認した。

フランス

9 件の発生が報告された。うち 8 件は、ブーシュ＝デュ＝ローヌ県、カルヴァドス県、コレーズ県、オルヌ県およびヴォージュ県であった。1 例は EHV-2/-5、馬鼻炎 B ウイルス (ERBV) の複合感染であった。カルヴァドス県では 1 施設 2 例の発生があった。臨床症状は、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱が認められた。鼻咽頭スワブを用いた PCR と、1 例では気管洗浄液の PCR で陽性を確認した。

ドイツ

ノルトライン＝ヴェストファーレン州で 1 例報告された。鼻腔洗浄液の PCR で陽性を確認した。

オランダ

10 件の発生が報告された。そのうち 7 件は、フリースラント州、北ブラバント州および南ホラント州で発生した単発症例であった。残りの 3 件は、フリースラント州とオーファーアイセル州で発生した複数症例であった。PCR で陽性を確認した。

南アフリカ

[#]北ケープ州およびムプマランガ州の別々の施設でそれぞれ 1 例ずつの発生が報告された。

スイス

3 件の発生が報告された。うち 2 件はベルン州とトゥールガウ州での単発症例であり、1 件はチューリッヒ州で発生した複数症例であった。PCR で陽性を確認した。

イギリス

デヴォン州、ランカシャー州、ノーフォーク州の施設で 3 件発生し、それぞれ単発症例であった。臨床症状は発咳、沈鬱、リンパ節腫脹、発熱、鼻汁などが認められた。鼻咽頭スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

馬インフルエンザ (EI)

ベルギー

東フランドース州およびエノー州で 5 件の発生が報告され、それぞれ単独発症であった。臨床症状は発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱が認められた。鼻腔スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

カナダ

7 件の発生が報告された。そのうち 6 件はケベック州の別々の施設における単発症例であった。1 件はアルバータ州における 2 症例であった。臨床症状は発咳、鼻汁、発熱、呼吸器症状などが認められた。

フランス

5 件の発生が報告された。うち 3 件は、カルヴァドス県、セーヌ＝マリティーム県で発生した単発症例であった。1 件はジロンド県での 2 例で、ブーシュ＝デュ＝ローヌ県では 5 例が報告された。臨床症状は発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱を認めた。鼻咽頭スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

ドイツ

バイエルン州と北ローヌ＝ヴェストファーレン州で、それぞれ 1 例ずつ、計 2 例の発生が報告された。鼻腔スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

オランダ

オーファーアイセル州で 1 例の発生が報告された。PCR で陽性を確認した。

イギリス

チェシャー州、イースト・ロージアン州、ウェスト・サセックス州、ウスターシャー州で 5 件の単発症例が報告された。臨床症状は発咳、食欲不振、沈鬱、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱などを認めた。鼻咽頭スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

アメリカ

4 件の発生が報告された。3 件はワシントン州の別々の施設での単発症例で、1 件は 1 施設で 2 例の発症であった。

腺疫

ベルギー

西フランダース州で 1 例の発生が報告された。臨床症状は、発咳、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱であった。鼻腔スワブを用いた PCR で陽性を確認した。

カナダ

10 件の発生が報告された。うち 9 件はアルバータ州とオンタリオ州のすべて異なる施設での単独発症であった。1 件はアルバータ州で発生した 2 例であった。臨床症状は、沈鬱、鼻汁、頭部および一肢の浮腫、発熱、横臥、呼吸促拍、下顎部の腫脹、頻脈を認めた。このうち 1 件は PCR で陽性を確認し、残りは細菌培養にて確定診断を実施した。

フランス

23 件の発生が報告された。うち 21 件はアリエージュ県、バ＝ラン県、カルヴァドス県、ドルドーニュ県、エッソンヌ県、オート＝ガロンヌ県、オート＝ソーヌ県、ジュラ県、ロワール＝アトランティック県、マンシュ県、オルヌ県、ローヌ県、サルト県、セーヌ＝エ＝マルヌ県、ヴォージュ県で発生した単独発症であった。その他 2 件はエソンヌ県、ローヌ県で発生した各 2 例で、うち 1 頭は ERBV に複合感染していた。臨床症状は発咳、嚥下困難、リンパ節腫脹、鼻汁、発熱などを認めた。鼻咽頭スワブ、鼻腔スワブ、喉嚢洗浄液を用いた PCR で陽性を確認した。

ドイツ

スイスとドイツの国境付近で 1 例の発生が報告された。臨床症状は発熱を認めた。PCR で陽性を確認した。

オランダ

25 件の発生が報告された。うち 11 件はフリースラント州、リンブルフ州、北ブラバント州、北ホラント州、オーファーアイセル州、南ホラント州の単発症例であった。14 件はドレンテ州、フリースラント州、北ブラバント州、北ホラント州、南ホラント州、オーファーアイセル州、ユトレヒト州で複数症例であった。臨床症状は、発咳、鼻汁、発熱、喘鳴、膿瘍の自壊、下顎リンパ節腫脹などを認めた。ほとんどの症例は PCR で陽性を確認した。

スイス

アールガウ州、ルツェルン州、チューリッヒ州で単発症例を含む 4 件の発生が報告された。臨床症状は発熱、呼吸器症状を認めた。ほとんどの症例は PCR で陽性を確認した。

アメリカ

40 件の発生が報告された。そのうち 37 件はフロリダ州、インディアナ州、カンザス州、ケンタッキー州、ミシガン州、ミズーリ州、オレゴン州、ワシントン州での単発症例であった。フロリダ州とウィスコンシン州では 2 例、コロラド州では 3 例が発生した。3 件は、フロリダ州、ケンタッキー州、ミシガン州での各 2 症例であった。臨床症状は、膿瘍、食欲不振、嚥下困難、呼吸困難、リンパ節腫大、喉嚢蓄膿症、沈鬱、リンパ節腫脹、鼻汁、下顎リンパ節からの膿性分泌、発熱、運動時の呼吸音、下顎部の腫脹、片側性の顔面腫脹などが認められた。

消化器疾患

発生国	馬コロナウイルス	ロタウイルス	サルモネラ症
フランス	-	9	-
スイス	1	-	-
アメリカ	-	-	1

[#] 四半期末後に報告があったもの

馬コロナウイルス

スイス

ベルン州で 1 件報告された。臨床症状は食欲不振、発熱が認められた。糞便の PCR により陽性を確認した。

ロタウイルス

フランス

9 件の発生が報告された。8 件はカルヴァドス、シャラント、ロット・エ・ガロンヌ、マイヌ、オルヌの各県で発生した単発症例であった。1 件はカルヴァドス県で発生した 2 症例であった。直腸スワブまたは糞便サンプルの PCR により陽性を確認した。

サルモネラ症

アメリカ

ミズーリ州で 1 件の発生が報告された。臨床症状は発熱、食欲不振、疝痛症状を認めた。

神経疾患

発生国	EEE	EEV	EHV-1	EHV-4	WNV
ベルギー	-	-	1	-	-
カナダ	-	-	4	-	-
フランス	-	-	1	1	-
南アフリカ	-	#43	-	-	#1
スウェーデン	-	-	1	-	-
イギリス	-	-	1	-	-
アメリカ	4	-	12	-	1

四半期末後に報告があったもの

東部馬脳炎（EEE）

アメリカ

フロリダ州で 4 件の単独発症が報告された。臨床症状は、抑うつ、協調運動障害、横臥し起立不能、無気力、唇の痙攣、筋収縮、発熱、振戦などを認めた。

ウマ脳症ウイルス（EEV）

南アフリカ

#ウマ脳症ウイルスは、南アフリカの風土病であり、以下の症例が報告された。フリーステート州（1 例）、ハウテン州（17 例）、クワズール・ナタール州（7 例）、ムプマランガ州（5 例）、北ケープ州（3 例）、北西州（2 例）、西ケープ州（1 例）、リンポポ州（7 例）。

馬ヘルペスウイルス 1 型（EHV-1）による神経疾患

ベルギー

東フランドース州で EHV-1 による流産も同時に報告された施設で 1 件報告された。報告された症例は以下の通りであった。安楽死となった麻痺 10 例、流産 8 例、新生子馬の

死亡 3 例、運動失調 2 例であった。胎子組織、抗凝固剤加血液サンプル、鼻腔スワブを用いて、PCR および LAMP 法によって陽性を確認した。

カナダ

アルバータ州、ケベック州、ウェリントン州において、4 件の発生が報告された。臨床症状は急性神経症状、運動失調、便秘、尿失禁、前庭疾患などが認められた。

フランス

ヴァル＝ド＝マルヌ県で 1 例が報告された。臨床症状は運動失調などを認めた。鼻咽頭スワブの PCR で陽性と診断された。

スウェーデン

オスターゴットランドの施設で 1 件 2 頭の発生が報告された。臨床症状は運動失調、排尿障害、発熱などを認めた。鼻腔スワブと血液による PCR で陽性を確認した。施設内には 14 頭の接触馬がおり、そのうち 6 頭は臨床症状を示しはじめ、そのうち 3 頭は安楽死となった。

イギリス

ノースヨークシャー州においてワクチン未接種馬で 1 例報告された。臨床症状として、痙攣、運動失調、尿閉と尿失禁を認めた。鼻咽頭スワブの PCR で陽性と診断され

アメリカ

12 件の発生が報告された。そのうち 10 件はカリフォルニア州、メイン州、オクラホマ州、オレゴン州、テキサス州、ワシントン州、およびウィスコンシン州における単一症例であった。1 件は Shenandoah Classic(ホースショー)期間中にバージニア・ホース・センターに入厩した 4 頭、1 件はカリフォルニア州で発生した 5 頭であった。臨床症状としては、運動失調、膀胱アトニー、顔面神経麻痺、便秘、肛門・尾の緊張欠如、沈鬱、水腫、発熱、神経学的徴候、横臥、頻脈、尿失禁などが認められた。

馬ヘルペスウイルス 4 型 (EHV-4) による神経疾患

フランス

ロワール県で 1 例の発生が報告された。臨床症状は運動失調、疲労、麻痺が認められた。

ウエストナイルウイルス (WNV)

南アフリカ

#クワズール・ナタール州で 1 件の発生が報告された。

アメリカ

ウィスコンシン州で 1 例の発生が報告された。臨床症状は運動失調と振戦を認めた。

その他の疾患

発生国	AHS	アナプラズマ症	非定型ミオパチー	クロストリジウム性筋炎	EIA	ピロプラズマ症	ポトマック熱	VS
カナダ	-	-	-	-	1	-	-	-
フランス	-	-	-	-	1	-	-	-
アイルランド	-	-	1	-	-	-	-	-
南アフリカ	#164	-	-	-	-	#1	-	-
スイス	-	2	-	1	-	-	-	-
アメリカ	-	-	-	-	6	-	1	39

#四半期末後に報告があったもの

アフリカ馬疫（AHS）

南アフリカ

#アフリカ馬疫（AHS）は、西ケープ州のAHS管理地域を除き、南アフリカでは風土病である。国内8州から症例が報告されているが、西ケープ州では0例である。以下のように症例が報告されている。東ケープ州（7例）、フリーステート州（4例）、ハウテン州（76例）、クワズール・ナタール州（32例）、ムプマランガ州（10例）、北ケープ州（4例）、北西州（10例）、リンボポ州（21例）。

アナプラズマ症

スイス

ヴォー州とチューリッヒ州でアナプラズマ症が2件発生し、それぞれ1例ずつ報告された。臨床症状は貧血、点状出血、発熱が認められた。PCRによって陽性を確認された。

非定型ミオパチー

スイス

1例の発生が報告された。

クロストリジウム性筋炎

スイス

ヴォー州で1例の発生が報告された。臨床症状は発熱とガス壊疽性筋炎を認めた。細菌学的検査で陽性を確認された。

馬伝染性貧血（EIA）

カナダ

ブリティッシュコロンビア州で 1 例報告された。罹患したウマは本症の常在地で放し飼いにされているウマと接触した経歴がある。

フランス

ドルドーニュ県において 1 例報告された。寒天ゲル内沈降反応法（AGID）により陽性を確認した。

アメリカ

6 件の発生が報告された。うち 5 件はアリゾナ州、カリフォルニア州、コロラド州、オクラホマ州、テキサス州で発生した単発症例である。他の 1 件はミネソタ州で、2 頭発生した。

馬ピロプラズマ症

南アフリカ

#ピロプラズマ症は南アフリカの風土病であり、9 州中 8 州から症例が報告された。*T. equi* の症例は以下のように報告されている。東ケープ州（1 例）、フリーステート州（12 例）、ハウテン州（30 例）、クワズール・ナタール州（7 例）、ムプマランガ州（6 例）、北ケープ州（7 例）、西ケープ州（13 例）、リンポポ州（5 例）。

ポトマック熱

アメリカ

ケンタッキー州で 1 例報告された。臨床症状は発熱、下痢、全身不快感を認めた。

水疱性口内炎

アメリカ

カリフォルニア州（38 件）とテキサス州（1 件）の 2 州で 39 件の発生が報告された。確認された症例すべてが水疱性口内炎ウイルスニュージャージー（VSNJV）血清型であった。